

ゲノム情報活用時代における 作物育種の進展と将来展望

～農林水産省委託プロジェクト研究「ゲノム情報を活用した
農産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト」シンポジウム～

平成 27 年 11 月 11 日 (水) 10:00 ～ 17:00

東京大学弥生講堂一条ホール (300 名)

東京都文京区弥生 1-1-1 東大農学部内 (地下鉄南北線東大前駅または千代田線根津駅下車)

入場無料

プログラム

基調講演 「動き出した農業イノベーション - 先端育種技術の果たす役割 -」
大江田 憲治 (住化技術情報センター)

講演

第Ⅰ部 ゲノム情報活用により飛躍的に加速する作物育種

有用遺伝子の発掘・創出とその利用にむけて

杉本 和彦 (生物研)

地域との連携による作物ゲノム育種推進体制の構築と実践

山本 敏央 (生物研)

「ひとめぼれ」遺伝子資源と全ゲノム解析を活用した水稻育種

寺内 良平
(岩手生物工学研究センター)

ポスターセッション

第Ⅱ部 新たな基盤技術による次世代育種

ゲノム情報で育種を加速する:ゲノミックセレクションによる効率的な品種改良

岩田 洋佳 (東京大学)

遺伝子発現情報を利用したイネの細密健康診断の可能性

井澤 毅 (生物研)

突然変異を待つのではなく、狙った突然変異をつくる

土岐 精一 (生物研)

第Ⅲ部 パネルディスカッション ～革新技术がもたらす新たな将来展望～

主催：農林水産省農林水産技術会議事務局

(国立研究開発法人) 農業・食品産業技術総合研究機構

(国立大学法人) 東京大学大学院農学生命科学研究科

(国立研究開発法人) 農業環境技術研究所

(国立研究開発法人) 農業生物資源研究所

〔登録先〕

「ゲノム情報活用時代における作物育種の進展と将来展望」シンポジウム事務局

<http://cropgenome.project.affrc.go.jp/special/symposium2015-11-11.html>

当日参加も可能ですが、参加人数を把握するため、事前に氏名・所属の御登録をお願いします。